

令和 4 年 11 月 22 日
水 産 庁

アイキャット

ICCAT（大西洋まぐろ類保存国際委員会）「年次会合」の結果について

1 ICCAT（大西洋まぐろ類保存国際委員会）

大西洋におけるカツオ・マグロ類の資源管理を目的とする国際機関。メンバーは、日本、米国、カナダ、南アフリカ、EU等 52 か国・地域。

2 日時・場所

11 月 14 日（月）から 21 日（月）まで、対面（ポルトガル）及びウェブ方式で開催。

3 我が国出席者

太田農林水産省顧問（政府代表）ほか、水産庁、外務省等。

4 結果概要

（1）大西洋クロマグロ（東水域と西水域に分けて管理）

（ア）東水域の漁獲可能量（TAC）の増加（2022 年から 12.7%増）

	2021 年	2022 年	2023 年～2025 年
TAC	36,000	36,000	40,570
うち日本	2,819	2,819	3,114
うちEU	19,460	19,460	21,503
うちモロッコ	3,284	3,284	3,700

（イ）西水域の TAC（2,726 トン）の維持。

	2021 年	2022 年	2023 年～2025 年
TAC	2,350	2,726	2,726
うち日本	407.48	664.52	664.52
うち米国	1,247.86	1,316.14	1,316.14
うちカナダ	515.59	543.65	543.65

（2）メバチ・キハダの TAC

メバチ：本年の 62,000 トンを維持。

（我が国割当は 13,979.84 トンを維持）

キハダ：本年の 110,000 トンを維持。

（国別割当量は設定されていない）